

いよいよ
あと3カ月

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会



▲熱戦が繰り広げられた障スポリハーサル大会。写真はバスケットボール競技



いちご^{いちえ}会とちぎ^{ちぎ}国体



いちごいちえ 会とちき大会

佐藤栄一市長は
手話で開会を宣言▼



今年10月、いよいよ「いちご一会とちぎ国体」（第77回国民体育大会）と、「いちご一会とちぎ大会」（第22回全国障害者スポーツ大会）が開催されます。

本県での国体開催は、「栃の葉国体」以来42年ぶり、全国障害者スポーツ大会は初めての開催となります。皆さん、一緒に両大会を盛り上げましょう。

第39号

字障連

福田富一 栃木県知事揮毫

- ・発行責任者・
会長 麦 倉 仁 巳
- ・編集・問合わせ先・
宇都宮市障害者
福祉社会連合会
☎320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
- ・宇障連事務局・
TEL 637-7771
FAX 639-0663
- ・手話通訳専用・
TEL・FAX 636-1219
- ・印刷所・
藤崎印刷株式会社

いちご一会とちぎ国体
(国体)

国民体育大会は、国内最大のスポーツの祭典として、各都道府県持ち回りで開催されています。

天皇杯（男女総合優勝）と皇后杯（女子総合優勝）を目指して、各都道府県代表の選手が出場します。県内各地で開催される正式・特別合わせて38競技のうち、市内では14競技を行います。

開催期間は、令和4年10月1日(土)11日(火)です。

いちご一会とちぎ大会
(障スポ)

全国障害者スポーツ大会は、国体後に開催される、最大の障がい者スポーツの祭典です。

障がい者が競技を通じてスポーツの楽しさを体験し、多くの人々の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の促進を目指しています。

5月21・22日には、本番を見据えたりハーサル大会を実施、課題の洗い出しなどを行いました(上の写真)。

県内各地で開催される14競技のうち、市内では5競技を行います。

開催期間は、10月29日(土)～31日(月)です。



▲企業協賛により企画・制作された記念品。3案の原案デザインから市民投票のうえ採用



「宮染め手ぬぐい」
はメッセージカードを添えて梱包▶

★想いを込めて袋に詰めた記念品
市内の4つの障がい者支援施設の皆さんの手作業により、丁寧に参加記念品の袋詰めを行っています。

★独自につくった国産・障スポグッズ

令和元年、12月の障がい者週間に合わせて開催された「わく・わくシヨップU特別販売会」をきっかけに市内3カ所の障がい者支援施設が国産・障スポオリジナルグッズを商品化しました。

当初、ティッシュケースやトートバッグなど4製品が誕生しましたがその取り組みの輪が広がり、ポロシヤツ・キーホルダー・缶バッジなども加わって、令和4年6月現在「わく・わくシヨップU」では、7事業所の9製品が販売されています。

グッズ・記念品で広がる
国体・障スポの輪

■国体・障害スポーツ大会の競技ごとの開催日時・会場・見どころなどについて詳しくは、市実行委員会ホームページをご覧ください。

知りたい! 国体!

～国体を目指す挑戦者たち～

国体・障スポでの活躍を目指す宇都宮ゆかりのアスリートたちにスポットをあて、国体・障スポに向けた想いや練習風景など、各競技の魅力や選手の横顔に迫った動画を配信しています。

最新編は「障スポ・バスケットボール」。キャプテンの中村俊介選手とチーム最年長でチームの柱である坂倉剛土選手のインタビューなどを交えて競技の見どころなどを紹介しています。

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/movie/1026970/index.html>



中村俊介さん
支えてくれる家族
や地元の皆さんの
応援を力にかけて、
プレーで恩返しで
きるように頑張り
ます。



坂巻剛士さん
県代表という看板を背負って、1試合でも多く勝てるように頑張ります。



お問合せ

市実行委員会ホームページ
https://utsumomiya
-tochigikokutai.jp



いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会
宇都宮市実行委員会事務局
TEL (678) 6953

福祉機器（視覚障がい者向け）の 貸出しサービスを始めました

宇障連ではこれまで行ってきた、視覚障がい者向け福祉機器の販売に加え、機器の貸出しサービスを開始しました。

貸出しは無料で行いますが、利用規約を定めていますのでご了承ください。詳しくは宇障連にお問い合わせください。

貸出し可能な品目

◆ポータブルレコーダー

プレクストークPTR3

プレクストークPTR2

◆点字ディスプレイ

ブレイルメモスマート16

◆拡大読書器（携帯用）

クロバー6、クロバー10

◆白杖

105cm、111cm、117cm

使っている機械が故障した、どんな機械なのか試してみたい、白杖が折れた。

みなさんのそんな困ったに少しでもお手伝いをしたく、宇障連が持っている機器や白杖を貸し出すことになりました。お貸出しできる機器は旧型の機器も含め、限られたもので数量も少ないのですが、どうぞご相談ください。

視覚障がい者向け機器の 貸出しサービス

無料

使っている機械が故障した！

➡ 修理の間どうしよう！

どんな機器なんだろう？

➡ 実際に試してみたい！

白杖が折れた！

➡ 白杖が無いと困った！



そうだ！
宇障連に相談しよう

4月1日よりサービス開始
お気軽にご相談ください。

ガイドヘルパー研修会を 開催しました

1 研修会の様子



5月14日（土）、ガイドヘルパーのレベルアップを図るための研修会を市総合福祉センターで開催しました。

講師に、岩井恵氏（栃木県立盲学校教員）をお招きし、「視覚障害者や

家族の心理」や「守秘義務」について具体例をもとに講義をしていただきました。

また、同行援護の利用者という立場から「同行援護に期待すること」もわかりやすい内容でお話いただきました。

講義後には活発な質疑応答が行われ、参加者は皆、日頃の業務に生かすために、真剣な表情で受講していました。

宇障連では今後も定期的に研修会を行っていく予定です。

“わく・わくショップUのSNSができました”



Twitter
ツイッター

特設販売（お弁当やパン、野菜など）の出店状況をリアルタイムで更新しています。



Instagram
インスタグラム

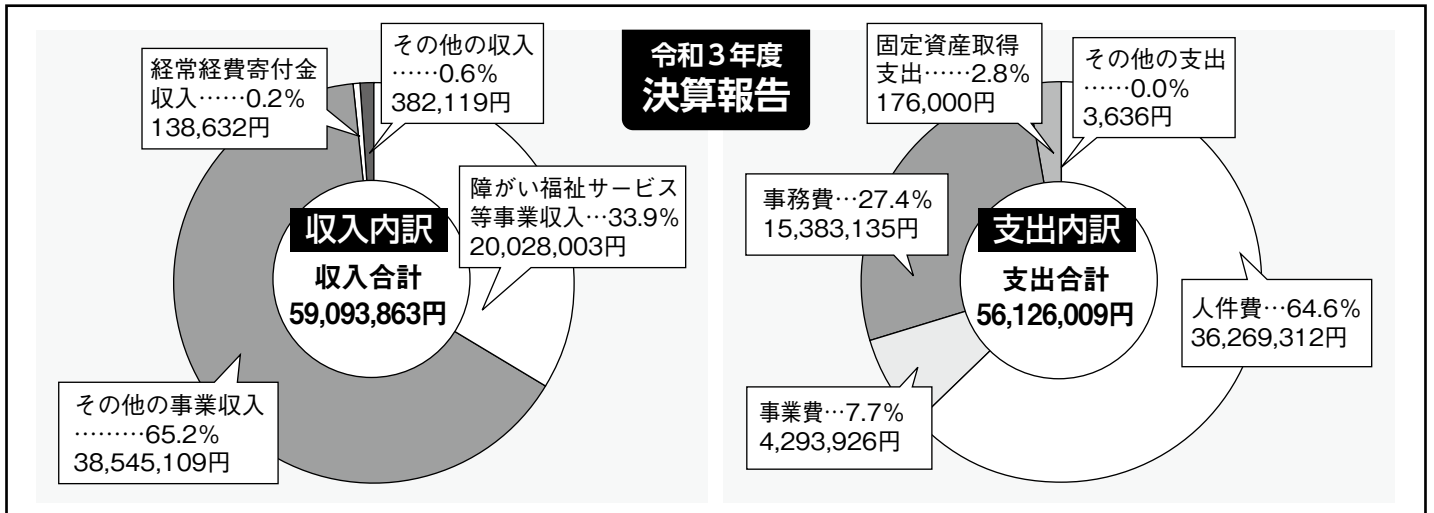
素敵な商品の写真です。



ホームページ
イベントや商品入荷のお知らせをのせています。

ぜひご覧になってください。





手話奉仕員養成講座始まる



5月10日から、今年度の「手話奉仕員養成講座」が始まりました。この講座は、手話奉仕員の養成を図り、手話通訳者を増やすことを目的に開催されており、宇都宮市からの委託事業として宇障連が実施しています。今年度は、16人の受講者が挑戦しており、全40回（実技34回、理論6回）を、来年3月まで継続して学習します。

この講座を修了した受講生は、「とちぎ視聴覚障害者情報センター」が開講する「手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を受講・修了し、全国手話通訳者統一試験に合格すると、手話通訳者として活動できることになります。

わく・わくマルシェを開催

6月18日(土)、「わく・わくマルシェ in オリオン」が、オリオン通り商店街のシンボルロードから東武百貨店前までの区間で開催されました。

マルシェは、オリオン通り商店街振興組合が主催となり、宇障連が運営を行うもので、今年で8回目の開催となりました。

当日は、市内11の障害者支援施設が出店し、季節の野菜や豆腐、コーヒーなどの飲食物から、Tシャツやストールなどのファッション関係、キャンドルやアクセサリーなどの小物類など多くの商品を販売しました。当日は、天候にも恵まれ、多くの方で賑わいました。



日中一時支援事業が終了

閉所式の様子



平成20年5月、宇都宮市の委託事業として盲学校寄宿舎の一室をお借りし、「つくしほーむ」を開設いたしました。家庭的な雰囲気を利用される皆さんが笑顔で過ごせるように、と活動してまいりましたが、宇都宮市の日中一時支援事業の終了に伴い、令和4年3月末日をもちまして閉所いたしました。

開所から13年10カ月、大きなケガや事故もなく過ごしてこられましたのも盲学校、寄宿舎の先生方をはじめ保護者や地域の皆様のご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

最終日の閉所式では、利用者さんも駆け付け、笑顔があふれ、これまでの写真を見て涙ぐんだり思い出話に花が咲いたり心温まる時間となりました。

なお、利用者の皆さんは今後、国の事業である放課後等デイサービスを利用していくことになります。

宇障連からのお知らせ

◆令和3年度の寄付者

・宇障連を支援する会 横尾光夫様
・藤崎印刷 藤崎則之様
・大塚俊男様
ありがとうございます。

遠隔手話通訳サービスの使い方についてチラシと動画が出来ました



前号でもお知らせしましたように、昨年12月から宇都宮市で遠隔手話通訳サービスが始まりました。
使い方についての案内と動画が出来ましたので市のホームページをご覧ください。



詳しくは宇都宮市のホームページからご確認ください

宇障連構成団体紹介

宇障連は6つの団体により構成されています。昨年に続き、今年も2つの団体を紹介します。

●宇都宮市視覚障害者福祉協会



那須どうぶつ王国への日帰りバス旅行の様子

宇都宮市視覚障害者福祉協会は、昭和53年5月5日より、次に掲げる目的および事業を会則として定めて活動しています。

- ① 視覚障害者の資質の向上。
- ② 視覚障害者の社会参加の促進。
- ③ 視覚障害者の福祉の増進。
- ④ 行政官庁との連携。
- ⑤ 会員相互の互助親睦。
- ⑥ 関係諸団体との連絡協調。

宇都宮市は、見えない、見えにくくても豊かな社会生活をおくるための障害者福祉サービスが整っている。すので、会では、見えない、見えにくい視覚障害をお持ちの方が、漏れることなく障害者福祉サービスを利用することができるよう情報提供をしています。

令和4年度の主な事業予定は、那須どうぶつ王国への日帰りバス旅や水の循環について学ぶ宇都宮市出前講座、IT講習会やオカリナ演奏会を楽しむ文化講演会、さらにはフロアバレーボールの紹介などがあります。事業には体験参加ができるものもありますので、興味のある方はご参加お待ちしております。

●宇都宮市聴覚障害者協会

宇都宮市聴覚障害者協会は、宇都宮市および、上三川町、高根沢町に住む聴覚障害者が手話で参画できる社会および、聴覚障害者の社会的自立と地位向上、福祉の向上、手話の普及を目的として1956年より活動しております。宇都宮市、上三川町、高根沢町に住む聴覚障害者や本会の目的に賛同した聞こえる人約200名が会員として登録しています。

コロナ禍により、行事が実施できない時期もありましたが、3密は回避しつつも、心は密に、感染予防対策やハイブリッド型での開催などの工夫をしながら、コロナに負けないように頑張っています。

今年もハイキング交流会、防災学習会、講演会、上映会等、聞こえない人の言語である「手話」で楽しめる・学べる・交流できる企画の他、手話講師の派遣や育成などを行います。聞こえない人と交流しながら手話や聴覚障害について学んでみませんか。



■連絡先

FAX 050-3737-3494
Email ucyyokyo@nifty.com

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 点訳グループ

「かたつむり」の皆さん
デিজリー全文訳センター
「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございます。